

電線全製品値上げ

樹脂材料価格など高騰

古河電工 軟性を高める可塑性、子会社の電 輸送費などさまざまな減や安価な材料への切線メーカー コストが深刻な水準で り替えなど、さまざまな自動努力を進めてきである古河 上昇し、同社の収益を たが、現在までに限界にきており、コスト増電工産業電 圧迫。事業継続に必要 分の一部を顧客に転嫁線（本社・ な収益を確保するため する。

東京都荒川区、社長・ 小塚崇光氏）は、樹脂 進める。材料などの価格高騰を 受けて、電線・ケーブル のほぼ全製品・全顧客を対象に、値上げを 実施している。電気絶縁用の材料に使う樹脂 や、電線被覆などの柔

安定的に資材を確保 して顧客に製品を供給 するために、サプライ ヤからの値上げ要請に 応じざるを得ない状 況。同社では原価低減 に向け製造時のロス低

今年度の初めに一度 値上げを進めたもの の、材料などのコスト が継続的に上昇してお り、現在までにさらなる 価格転嫁が必要な状 況となっている。

